

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社フロムオリジン			
所在地	東京都渋谷区広尾一丁目10番5－906号			
業種	(G) 情報通信業			
常用労働者数	6人			
事業内容	開発受託事業、プログラミング教育、DX・EX・AI 支援事業			
ホームページ	https://fromorigin.io/			
1 ニーズ調査				
① 実施日	2025 年 12 月 1 日			
② 方法	Google Form にて実施			
③ 回収率	対象者（都内勤務全従業員）6 名のうち回収数 6 名 回収率 100 %（回収数／対象者）			
④調査結果概要	（調査により明らかになった課題） ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 全従業員が介護未経験であるため、介護が始まった際の具体的な生活変化や、仕事への影響をリアルにイメージしにくい。 ・今後の従業員の介護見込みについて 全員に介護の可能性があるが、「自分が主導する」という意識はまだ低い傾向にあるため、いざ介護が始まった際に、親族任せにできず急な対応を迫られる「介護離職」のリスクが潜在していると考えられる。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 会社が制度を整えていたとしても、従業員の 3 分の 2 がその存在すら知らない状態であり、介護に直面した際に制度利用を検討する前に「辞めるしかない」という判断に至る恐れがある。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 公的・社内制度の知識不足が、そのまま「続けられるかわからない」という不安に直結している。一方で、職場内のコミュニケーションは円滑であると全員が感じており、相談しやすい土壌はあるものの、肝心の「解決策（情報）」が不足している。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 従業員は「制度を活用した両立」を強く望んでいるが、前述の通り自社の制度を知らない現状である。介護休業を「介護のために休む期間」と捉える層と「両立体制を作る期間」と捉える層が混在しているため、制度利用時の認識の齟齬を防ぐためのガイドラインが必要であると考えられる。			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
① 設置日	2025 年 11 月 16 日			
②メンバー	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 2 名） （メンバー内訳）代表取締役、事務担当			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	11 月 21 日	10：00 ～10：30	活動内容及びスケジュールの確認	2 名
	12 月 15 日	11：30 ～12：00	調査結果確認、取組案の議論	2 名
	1 月 7 日	11：00 ～12：00	取組案について意見交換、確定	2 名
	1 月 21 日	13：00 ～14：00	顧問社労士との育児介護休業規程・労使協定案の確認	2 名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
2026 年 1 月～ 育児介護休業規程の設定および社内への継続的な周知				

2027 年 1 月～ 介護全般に関するセミナーないし社内情報共有会の企画・実施
4 経営者・管理職への体験型研修の実施
有り・無し (いずれかに○)